

1. 単元名 「天皇中心の国づくり」

2. 単元の目標

・天皇中心の国づくりがなされたことや、そのために行われた飛鳥・奈良時代の事物について理解している。 (知識・技能)

・竹内街道の役割について考えたり調べたりする活動を通して、積極的に大陸文化を摂取しようとしたことや、天皇中心の国づくりが確立されたことを自分の言葉で表現している。

(思考力・判断力・表現力)

・天皇中心の国づくりについて関心を持ち、竹内街道の役割を通して天皇中心の国づくりが行われた様子を進んで学習しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

竹内街道を中心に天皇の国づくりがなされた飛鳥・奈良時代について学習する。今回中心として扱う竹内街道は大阪府と奈良県を結ぶ最古の官道であり、時代とともに役割を変えながら現代まで伝えられている。古代から、難波宮から南下する難波街道、奈良盆地を東西に走る横大路と合わせて都を結ぶ大道として整備されていた。飛鳥・奈良時代にはこの道を通して中国や朝鮮半島から多くの物や仏教が伝来し、街道周辺に多くの仏教寺院が建立された。中世には大阪府堺市と奈良県今井町を結び物資を運ぶ経済の道や、江戸時代には伊勢神宮参拝のおかげ参りに使用する信仰の道としての役割があったが、飛鳥・奈良時代には聖徳太子や仏教などの信仰の道、中国、朝鮮とのやり取りをする外交の道としての役割が強く、それらを教科書の内容を踏まえながら確認する。また、現代の竹内街道と比較することで、当時から残されてきた竹内街道にはどのような価値があるのかについても学習する。

(2) 児童観

<省略>

(3) 指導観

天皇中心に国づくりが行われたことや、そのために飛鳥・奈良時代には海外から進んだ技術や仏教が伝えられたことを竹内街道が果たした役割から中心に読み取らせたい。現代との比較では、実際に竹内街道を歩かせ、道の様子や周辺の様子を確認する。また、竹内街道ガイドボランティアの方や竹内街道資料館などにも協力を得ながらの指導を行いたい。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

・公平性…竹内街道の価値について知り、のちの世代につないでいくことについて考える

- ・本学習で育てたいE S Dの資質・能力
 - ・多面的・総合的に考える力（システムズ・シンキング）…仏教、聖徳太子信仰や大陸文化の流入といった情報から竹内街道が信仰の道、外交の道であったことについて捉える
 - ・コミュニケーションを行う力…班やクラスで協力して調べ活動を行う
- ・本学習で変容を促すE S Dの価値観
 - ・世代間の公正…過去に大切にされていたものをこれからも残していく
- ・達成が期待されるSDGs
 - ・目標 11 住み続けられるまちづくりを

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①天皇中心の国づくりについて理解している。 ②天皇中心の国づくりのために行われた飛鳥・奈良時代の事物について理解している。	①天皇中心の国づくりはどのようにして行われたかについて考え自分の言葉で表現している。 ②竹内街道の役割について考えたり調べたりする活動を通して大陸文化を積極的に摂取しようとしたことについて自分の言葉で表現している。	①天皇中心の国づくりについて関心をもって学習している。 ②飛鳥・奈良時代の事物や現在竹内街道に関わっている人々に関心をもって進んで学習している。

5. 単元の指導計画（全13時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 評価規準（）
1	○法隆寺、聖徳太子、遣隋使について学ぶ	・仏教や遣隋使はどこを通過してやって来たのかについて触れ、竹内街道の存在に気づかせる	△ア②（観察、発言）
2	○大化の改新、藤原京について学ぶ	・藤原京周辺の道についても触れ、港と竹内街道で結ばれていたことに気づかせる	△ウ①（観察、発言）
3	○平城京、大仏づくりについて学ぶ	・平城京に都が移った際の道について触れ、港と平城京を結ぶには竹内街道が必要であることに気づかせる	△イ①（観察、発言）
4	○大陸の文化の流入について学ぶ	・大陸の文化がどこを通過して都へ運ばれたかについて触れ、竹内街道の存在に気づかせる	△ア①（観察・発言）

5	○これまでの学習を振り返り、竹内街道の様々な役割について考える	・信仰の道、外交の道としての意味があったことに気づかせる	△イ②（発言、ノート）
6	○今の竹内街道について知る	・実際に通学路にある竹内街道をフィールドワークする	△ウ②（観察、発言）
7	○フィールドワークを行った結果をもとに、石碑や寺院の場所などを地図上にマッピングする	・保護者に行った竹内街道について知っているかのアンケート結果を見せる ・マッピングした地図から竹内街道の今の様子を読み取らせる	△ウ②（発言、ノート）
8	○竹内街道ガイドボランティアの人の話を聞く	・今の竹内街道はどのような人が歩くのかやどのような使われ方をしているのかについて知るようにする	△ウ②（観察、発言）
9	○改めて竹内街道の意味について考える	・昔から今に至るまで大切にされてきたものであること、伝えることの重要性に気づかせる ・これからの竹内街道はどうあってほしいかを考えさせる	△イ②（発言、ノート）
10 ～ 12	○1～5年生向けにガイドブックを作る	・作ったガイドブックを用い、全校での集団下校の際に説明する機会を作る	△イ①（発言、ノート）
13	○振り返り活動をする	・ほかの学年から感想をもらう	△ア①（発言、ノート）